

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察 注意報第5号

いちご ハダニ類 (ナミハダニ、カンザワハダニ)

1. 発生地域 (対象地域) 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 10月後期の巡回調査(26筆)の結果、寄生株率は7.2%(平年3.3%)、発生圃場率は38.5%(平年22.2%)と平年より高かった(図1、2)。
- (2) 気象予報(福岡管区气象台、令和元年10月31日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

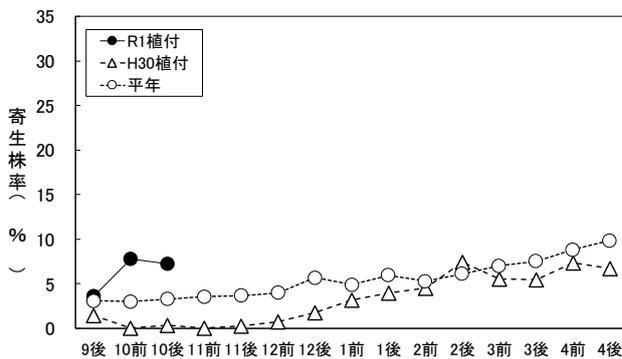


図1 いちご ハダニ類 寄生株率
平年: H21~H30の平均値(最大・最小除く)

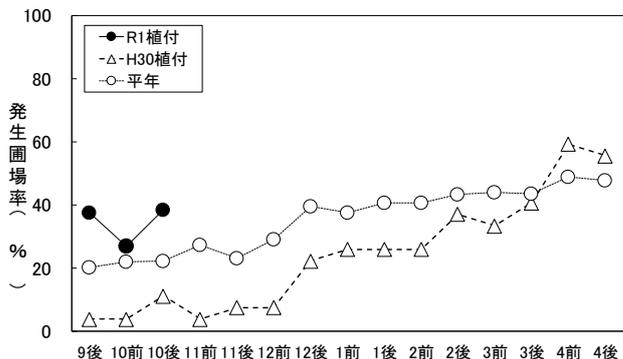


図2 いちご ハダニ類 発生圃場率
平年: H21~H30の平均値(最大・最小除く)

4. 防除対策

- (1) 発生が多くなると防除が困難になるので、圃場全体を観察し早期発見につとめ、発生密度の低いうちに防除を行う。
- (2) 下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。特に「ゆめのか」「恋みのり」は茎葉が繁茂しやすいため、農薬が葉裏まで十分かかるように留意する。なお、古葉の摘葉後に防除すると効果的である。
- (3) 薬剤感受性が低下しやすいので、系統の異なる薬剤(平成31年長崎県病害虫防除基準P220~223の「作用機構による分類(IRAC)」参照)をローテーション散布する。なお、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤は、卵に対する効果が低いので5~7日おきに連続散布を行う。
- (4) 天敵資材を導入する圃場では、薬剤によっては天敵に長期間影響を与えるものがあるので、薬剤の選択と使用時期に注意する。
- (5) 薬剤散布の際は、ハウスのミツバチ用出入口を防ぎ、薬剤が巣箱にかからないように注意することや、散布後はハウス内の換気を十分行うなど、ミツバチに影響の無いよう適正な管理に努める。

○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病虫害防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

